



令和8年度 編入学生募集要項

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

～求める学生像～

- ★ 高専入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人
- ★ 学校生活に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力を身につけている人
- ★ 社会や集団のルールを守ることができる人
- ★ 海事分野または工業分野に関する専門知識と技術の習得に意欲のある人
- ★ 専門知識と技術を身につけ、新しい技術の創造に挑戦する意欲のある人

National Institute of Technology (KOSEN), Oshima College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校

〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1

TEL (0820) 74-5473 (学生課教務係)

FAX (0820) 74-5554 (学生課)

E-mail kyoumu@oshima-k.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.oshima-k.ac.jp/>

編入学生募集要項 目次

1. アドミッションポリシー（入学者受入方針）	1
2. 編入学を実施する学科・募集人員及び編入学年次	1
3. 出願資格	1
4. 出願手続	1
(1) 願書受付期間	
(2) 願書受付場所	
(3) 提出書類	
(4) 出願に関する注意事項	
5. 入学者選抜方法	3
(1) 日時・検査科目等	
(2) 受験地	
(3) 留意事項	
6. 合格者の発表	4
(1) 日時	
(2) 場所	
(3) 発表方法	
7. 入学確約書の提出	4
8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供について	4
9. 個人情報の取扱いについて	5
10. 検定料免除の措置について	5
11. その他	5

編入学案内（電子機械工学科・情報工学科）

1. 本校の教育について	6
2. ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシー	6
3. 位置と環境	7
4. 編入学の学年と授業科目	7
5. クラブ活動	7
6. 学寮	8
7. 入学手続等に必要経費	8
(1) 入学時等に必要経費	
(2) 教科書代等(概算)	
☆ 入学料免除	
☆ 授業料免除	
8. 奨学金制度	9
9. 取得可能な免許・資格等	9
10. 卒業後の進路	10
11. 教育課程	11

出願書類等（様式は本校ホームページに掲載）

- ・ 編入学願書
- ・ 写真票・受験票
- ・ 自己申告書

高等学校作成書類（様式は問い合わせのうえ請求）

- ・ 推薦書

令和8年度 編入学生募集要項

1. アドミッションポリシー（入学者受入方針）

○求める学生像

1. 高専入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人
2. 学校生活に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力を身につけている人
3. 社会や集団のルールを守ることができる人
4. 海事分野または工業分野に関する専門知識と技術の習得に意欲のある人
5. 専門知識と技術を身につけ、新しい技術の創造に挑戦する意欲のある人

○入学者選抜方針

本校では、「我が国のものづくりの技術基盤を支え、質の高い専門能力を有し、創造性に富み、国際感覚を身につけた視野の広い実践的技術者」の養成を目的とし、「求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、志願動機、意欲、適性などに関して、提出書類の評価と学力検査及び面接を実施し、その結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

2. 編入学を実施する学科・募集人員及び編入学年次

学 科 名	募 集 人 員	編 入 学 年 次
電 子 機 械 工 学 科	若 干 名	第4学年
情 報 工 学 科	若 干 名	

3. 出願資格

次のいずれかに該当し、出身（在学）学校長（以下「学校長」という。）が本校の教育に適すると認め推薦できる者

- （1）高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者
- （2）高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者
- （3）その他高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本校が認めた者

注）上記（3）により出願する者は、事前に学生課教務係に問い合わせること。

4. 出願手続

（1）願書受付期間

令和7年6月23日（月）から6月25日（水）午後4時まで（必着）

注）持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます。

※入学検定料振込期間

令和7年6月16日（月）から6月25日（水）まで

注）金融機関の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。

(2) 願書受付場所

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校 学生課教務係
TEL (0820) 74-5473

(3) 提出書類

書 類 等		摘 要
志 願 者 が 作 成 す る も の	① 編入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入すること。
	② 写真票・受験票	本校所定の様式に必要事項を記入すること。 上半身・無帽・正面向き・無背景・無加工で、出願前3か月以内に撮影した縦4.5cm×横3.5cmの写真を貼り付ける。
	③ 受験票返送用封筒	長形3号の封筒に返送先の住所及び氏名を記入し、320円分の切手を貼ったもの。
	④ 自己申告書	本校所定の様式に、志願者本人が自筆で記入すること。
	⑤ 入学検定料	16,500円 振込受付期間 令和7年6月16日(月)～6月25日(水) 金融機関窓口で下記の口座に振り込み、「振込金受取書」を①編入学願書の裏面に貼り付けてください。振込人名義は、必ず志願者氏名としてください。 山口銀行 大島支店 (普通) 6088470 トリコケンコウリョク 独立行政法人国立高等専門学校機構本部
高 等 学 校 で 作 成 す る も の	⑥ 推薦書	本校所定の様式により、学校長が作成し厳封したもの。
	⑦ 調査書	出身(在学)学校(以下「高等学校」という。)の所定用紙により、学校長が作成し厳封したもの。
	⑧ 卒業証明書又は卒業見込証明書	高等学校の所定用紙により、学校長が作成したもの。
	⑨ 修得単位証明書	
	⑩ 受験承諾書(任意様式)	既に就職している者又は大学に在学中の者は、その所属長又は大学長の受験承諾書を本校の校長あてに提出してください。

※①・②・④は本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦の用紙に印刷してください。①・②・④は本人が自筆で記入してください。⑥は本校に問い合わせのうえ様式を取り寄せてください。

(4) 出願に関する注意事項

- ア 郵送する場合は、必ず「簡易書留」とし、封筒に「編入学願書在中」と朱書きしてください。
- イ 提出書類に虚偽の記載があった場合は、編入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ウ 願書受付後は、志望学科及びその他記載事項の変更を認めません。
- エ 受理した提出書類等はいかなる理由があっても返却しません。
- オ 振込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ① 入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合。
 - ② 誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合。
- なお、上記①又は②に該当する場合は速やかに学生課教務係へご連絡ください。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、提出書類（自己申告書30点、調査書100点：5段階評価の平均点の20倍）の評価と本校で行う学力検査（3科目各100点）、面接（70点）の評価を総合して判定します。

(1) 日時・検査科目等

令和7年8月18日（月）

時間 \ 学科	電子機械工学科	情報工学科
9:00～9:50	数 学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A）	
10:00～10:50	英 語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ）	
11:00～12:10	選択科目 （製図＜機械製図＞） // （電 気 基 礎） // （物理基礎、物理） の3科目のうち いずれか1科目を選択	選択科目 （プログラミングC言語） // （電 気 基 礎） // （物理基礎、物理） の3科目のうち いずれか1科目を選択
休 憩		
13:00～	面 接（30分程度）	

(2) 受験地

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校

(3) 留意事項

「受験にあたっての注意」を受験票に同封して送付しますので、必ずよく読んで検査に臨んでください。

6. 合格者の発表

(1) 日時

令和7年8月21日(木) 午前10時

(2) 場所

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校 図書館玄関前 掲示板

(3) 発表方法

合格者の受験番号を学科別に掲示します。

文書により学校長及び本人に合否を通知します。

なお、合格者の受験番号を本校のホームページに掲載しますので参考にしてください。電話、メール等での合否に関する問い合わせには、一切応じません。

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を学生課教務係に令和7年12月5日(金)16時までに必着するよう提出してください。この期限までに提出しない者は、本校への入学の意志がないものとして取り扱います。

8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

大島商船高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の令和7年6月25日(水)を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等学校、特別支援学校高等部等入学前の支援状況に関する資料等、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

(相談窓口)

学生課教務係

電 話：(0820) 74-5473

F A X：(0820) 74-5554

MAIL：kyoumu@oshima-k.ac.jp

9. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された書類に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 編入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

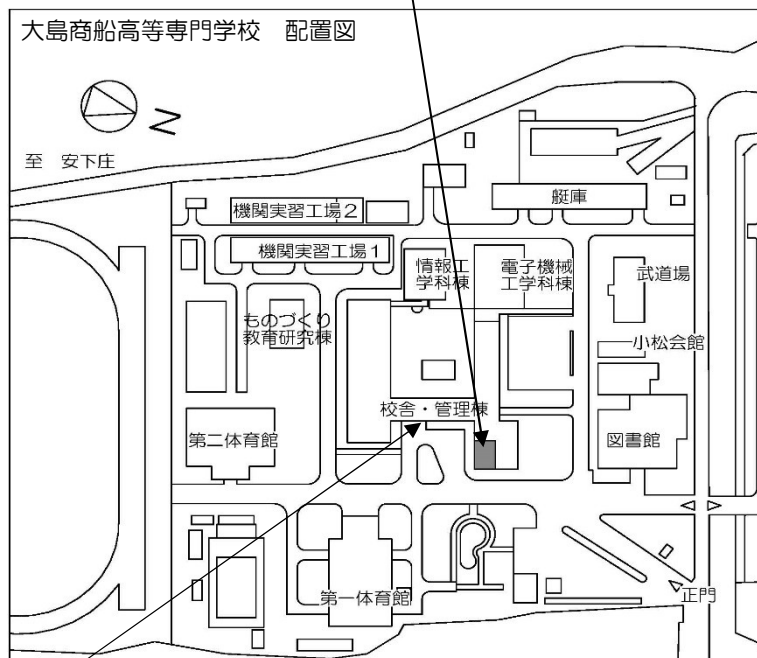
10. 検定料免除の措置について

入学志願者本人又は学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災した場合、検定料を免除される場合があります。詳細については、学生課教務係へお問い合わせください。

11. その他

編入学に関する問い合わせは、学生課教務係へ連絡してください。

〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校 **学生課教務係**（校舎・管理棟1Fにあります。）
TEL (0820) 74-5473



検査当日
集合場所

編 入 学 案 内

(電子機械工学科・情報工学科)

1. 本校の教育について

(1) 教育目標

- 1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する。
- 2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する。
- 3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する。

(2) 各学科の教育上の目的

【電子機械工学科】

- ① 電気電子工学と機械工学に関する高度な知識を有する実践的技術者の養成
- ② コンピュータ・情報関連教育による高度なコンピュータ活用能力の育成
- ③ 論理的文章の表現力とプレゼンテーション能力の育成
- ④ 福祉と環境も考慮に入れることのできる豊かな人間性と責任感の育成

【情報工学科】

- ① 豊富な情報技術をもとにした視野の広い応用能力の育成
- ② グループリーダーとしてのコミュニケーションとプレゼンテーション能力の育成
- ③ 柔軟で創造的なシステムデザイン能力の育成

(3) 専攻科

本校には、本科卒業後さらに高度な専門分野を学習、研究するために、2年制の専攻科が設置されています。(海洋交通システム学専攻、電子・情報システム工学専攻)

専攻科に入学した者は、所定の単位を修得し、大学評価・学位授与機構が行う審査に合格すれば学士の学位が授与されます。

(4) 日本技術者教育認定（JABEE）について

本校は平成 26 年度から日本技術者教育プログラム（JABEE）の認定を受けています。電子機械工学科と情報工学科の 4 年生と 5 年生、電子・情報システム工学専攻の学生が対象です。

本プログラムでは「ものづくりの分野で活躍できる技術者の育成」を目指しています。

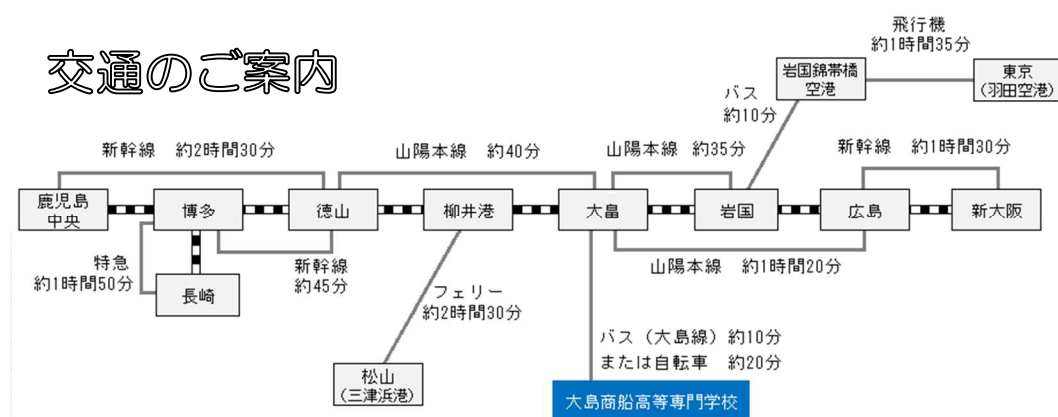
2. ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシー

本校では、ディプロマポリシー（卒業認定方針）及びカリキュラムポリシー（教育課程方針）を定めています。詳細は、本校ホームページに掲載しています。

URL <https://www.oshima-k.ac.jp/kyouiku/>

3. 位置と環境

学校のある屋代島（周防大島）は、瀬戸内海では、淡路島、小豆島に次ぐ周囲 100km の大きな島で瀬戸内海国立公園の西部に位置しています。澄んだ空気、青い海と緑豊かな自然環境に恵まれ、勉学とスポーツに励む学生にとって最適の場所であり、優れた技術者を目指す者を養成するにふさわしい教育環境といえます。大島大橋によって本州と結ばれていますので、JR 大島駅から自転車を通うことも可能です。（条件によりバイク通学も可。）



大島駅からは、2番のりばで「沖浦経由 町立橋医院前」行きのバスに乗車してください。

4. 編入学の学年と授業科目

電子機械工学科及び情報工学科の第4学年に編入学し、同学年の授業科目（1 1. 教育課程を参照）から学習することになります。

ただし、授業科目によっては、不足部分を補うための補習授業をすることがあります。

5. クラブ活動

本校では、勉学とクラブ活動の両立を目指してほとんどの学生が体育部や文化部の活動に励んでいます。

体 育 部	カ ッ タ ー バスケットボール	ヨ ッ ト バレーボール	ラ グ ビ ー 硬 式 野 球	サ ッ カ ー ソフトテニス
	卓 球	陸 上 競 技	柔 道	剣 道
	水 泳	バドミントン	PWC レスキュー	
文 化 部	吹 奏 楽	E S S	詩 吟	コンピュータ
	軽 音 楽	写 真	ロボット研究	
同 好 会	天 文	茶 道	空手道・少林寺拳法	和 太 鼓
	美 術			

6. 学寮

寮生活は、規律ある共同生活の体験を通して、幅広い豊かな人間形成を目指します。学生時代の良き思い出として入寮するのもいいでしょう。

必 要 経 費（令和7年度の場合）		
区 分	金 額	備 考
寮 費	9,800円	月額（光熱水料やエアコンに関する経費等）
給 食 費	約40,000円	月額（1日3食 30日の場合）
寄 宿 料	9,600円	年額（※2人部屋の場合は8,400円）
寮生会会費	1,200円	年額

注）寮費は、設備の充実・物価の変動等により変更することがあります。

7. 入学手続等に必要な経費

以下はいずれも、令和7年度の場合です。

(1) 入学時等に必要な入学料等

費 目	3 月	4 月	10月	備考
入 学 料	84,600円			
授 業 料		117,300円	117,300円	年額 234,600円 半期ごと支払い
学 生 会 会 費		4,800円	4,800円	半期ごと支払い
傷害保険料等		5,540円		うち日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金は年額 1,550円
合 計	84,600円	127,640円	122,100円	

注）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度や徴収猶予等、様々な支援制度があります。

(2) 教科書代等(入学時概算)

教 科 書 代	約 45,000円	教材費含む
---------	-----------	-------

注）4・5年生に制服はありません。

☆ 入学料免除

入学前1年以内において、学費負担者の死亡又は風水害等の災害を受け、学資の支弁が困難な学生に対しては、申請により選考の上、入学料の全額又は半額が免除されます。

☆ 授業料免除

学費の支弁が困難で、かつ成績優秀な学生に対しては、申請により選考の上、授業料の全額又は半額が免除されます。

* その他：大島商船高等専門学校奨学後援会・体育文化後援会

費 目	4 月	10月	備考
奨学後援会会費等	22,000円	12,000円	4月時は入会金含む

（学生の保護者又はこれに代わる者の組織です）

8. 奨学金制度

優秀な人材が経済的理由で勉学に支障を生じないように、奨学金の貸与制度があります。次表の貸与を希望する学生は各奨学会で選考の上、貸与が決定されます。

奨 学 会 名	貸 与 月 額		
日 本 学 生 支 援 機 構	第 一 種	自 宅	20,000 円、30,000 円、45,000 円
		自 宅 外	20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円
	第 二 種	20,000 円～120,000 円 (10,000 円単位で選択できます。)	
山 口 県 ひ と つ ぐ り 財 団	寮・下宿		24,000 円
	一般		18,000 円

9. 取得可能な免許・資格等

幅広い分野の専門性を高めるため、下記の資格検定取得に数多くの学生がチャレンジしています。また、英語検定や CG 検定などは、単位として認定するなどの配慮を行い、資格取得を奨励しています。

電子機械工学科	第三種電気主任技術者試験、第二種電気工事士試験、CAD利用技術者試験（2D、3D）、工事担任者【ネットワーク接続技術者】試験（AI1 種、DD1 種、AI・DD 総合種）、情報処理技術者試験（IT パスポート、基本情報技術者試験）、情報システム試験（プログラマ認定、システムエンジニア認定）、二級ボイラー技士試験、危険物取扱者試験（乙種）、技術英語能力検定、実用英語技能検定、TOEIC、実用数学技能検定、日本漢字能力検定 等
情 報 工 学 科	情報処理技術者試験（国家試験）【ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者、応用情報技術者、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト】、CGエンジニア検定、画像処理エンジニア検定、CGクリエイター検定、マルチメディア検定、Web デザイナー検定、CAD利用技術者試験（2D、3D）、情報システム試験（プログラマ認定、システムエンジニア認定）、技術英語能力検定、実用英語技能検定、TOEIC 等

10. 卒業後の進路

電子機械工学科	過去の主な就職先	アークレイ、アイ・エス・ビー、旭化成、いすゞエンジニアリング、出光興産、エース設計産業、NS ウェスト、NTT データ MHI システムズ、ENEOS、オーエム機械、大阪ガス、大阪サニタリー、花王、関西電力、キヤノンシステムアンドサポート、向洋電機、国立印刷局、コニカミノルタ、サントリー、JR 貨物、JR 東海、JR 西日本、J-POWER ジェネレーションサービス、JERA、シマノ、新川電機、神鋼テクノ、スタンレー電気、セイコーエプソン、西部電機、ダイキン工業、大晃ホールディングス、ダイセル、武田薬品工業、タマディック、中国電力、中国電力ネットワーク、DIC、テラテック、トーカロ、ニコン、日鋼設計、日東電工、日本精工、日本製鋼所、日本製紙、日本発条、PACRAFT、パナソニックコネクト、浜松ホトニクス、日立交通テクノロジー、日立ハイテック、日立ハイテックフィールドイング、富士電機、Primetals Technologies、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、マツダ、マツダ E&T、三井化学、三菱ガス化学、三菱ケミカル、三菱重工業、三菱重工機械システム、三菱電機、三菱電機ビルソリューションズ、ムラテック CCS、UBE、ユノス、LIXIL、県職員、自衛官 等
	過去 3 年間の主な進学先	九州工業大学、豊橋技術科学大学、山口大学、大島商船高等専門学校専攻科 等
情報工学科	過去の主な就職先	アイ・エス・ビー、インフォコム西日本、NEC ネットエスアイ、NEC フィールドイング、NS ウェスト、NTT-ME、NTT コムエンジニアリング、NTT データ MHI システムズ、NTT データフロンティア、NTT ワールドエンジニアリングマリン、ENEOS、オムロンフィールドエンジニアリング、科学情報システムズ、関西電力、キヤノンマーケティングジャパン、京セラコミュニケーションシステム、KDDI エンジニアリング、クボタ、コニカミノルタジャパン、コベルコソフトサービス、CTC システムマネジメント、CTC テクノロジー、新川電機、西部電機、大晃ホールディングス、中国電力ネットワーク、中電プラント、JR 東海、JX 金属、東芝 IT サービス、東ソー情報システム、トクヤマ海陸運送、西日本電信電話、日本オーチス・エレベータ、日本原子力発電、任天堂、日立アドバンスドシステムズ、日立社会情報サービス、日立情報通信エンジニアリング、日立ハイテック、日立ハイテックフィールドイング、日立ビルシステム、ヒロテック、ファインディックス、マツダ E&T、丸文、三井 E&S システム技研、三菱電機システムサービス、メンバーズ、モノサス、LIXIL、リコージャパン、県職員、地方公務員、自衛官、本校職員 等
	過去 3 年間の主な進学先	九州工業大学、熊本大学、東京都立大学、東北大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、広島大学、山口大学、大島商船高等専門学校専攻科 等

11. 教育課程

一般科目(電子機械工学科・情報工学科共通)

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 配 当		備 考
			4 年	5 年	
必修科目	法 学	1	1		
	哲 学	1	1		
	経 営	2		2 *	
	国 際 文 化 論	2		2 *	
	英 語	2	2		
	保 健 体 育	4	2	2	
	必修科目計	12	6	6	
選択科目	第 二 外 国 語	2	2		
	技 能 英 語	2	2		
	日 本 言 語 文 化 論	2	2		
	開設科目計	6	6		
	履 修 科 目 計	2	2		
一 般 科 目 計		14	8	6	

*は学則第14条第4項に定める授業科目による学修単位を示す。

専門科目(電子機械工学科)

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当		備 考
			4 年	5 年	
必修科目	材 料 力 学	2	2 *		
	材 料 力 学 演 習	1	1		
	制 御 工 学	2	2		
	熱 力 学	2	2 *		
	流 体 力 学	2	2 *		
	産 業 電 子 機 械	2	2 *		
	機 械 力 学	2		2 *	
	デ ィ ジ タ ル 回 路	2	2 *		
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2	2 *		
	電 磁 気 学 II	2	2 *		
	セ ン サ 工 学	2	2 *		
	電 気 機 器	2		2 *	
	電 気 回 路 II	2		2 *	
	数 値 計 算 法	2	2 *		
	組 込 み シ ス テ ム	2		2 *	
	応 用 物 理	2		2 *	
	応 用 数 学	2	2		
	工 業 英 語	2		2 *	
	電 子 機 械 演 習	2		2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン	1	1		
	実 験 実 習	2	2		
	卒 業 研 究	8		8	
履修単位数計		48	26	22	
選択科目	工 業 材 料	2	2		
	情 報 処 理 演 習	2	2		
	シ ス テ ム 制 御 工 学	1		1	
	電 子 機 械 特 論 I	1		1	
	電 子 機 械 特 論 II	1		1	
	電 子 機 械 特 論 III	1		1	
	無 線 シ ス テ ム	1		1	
	C A D / C A M	1		1	
	ロ ボ ッ ト 工 学	1		1	
	通 信 シ ス テ ム	1		1	
	デ ジ タ ル ・ ア ナ ログ 集 積 回 路	1		1	
	セ キ ュ リ ティ マ ネ ジ メ ン ト	1		1	
	デ ィ ジ タ ル 画 像 処 理	1		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	1	1	
	開設単位数計	17	5	12	
	履修単位数計	8	2	6	
履修単位数合計		56	28	28	

*は学則第14条第4項に定める授業科目による学修単位を示す。

	単位数	学 年 別 配 当		備 考
		4年	5年	
専門科目履修単位数	56	28	28	
一般科目履修単位数	14	8	6	
合 計	70	36	34	

専門科目(情報工学科)

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当		備 考
			4 年	5 年	
必修科目	情 報 理 論	2	2 *		
	データ構造とアルゴリズム	2	2 *		
	数 理 計 画 法	2	2		
	オペレーションズリサーチ	2		2 *	
	システムプログラム	2		2 *	
	計算機アーキテクチャⅡ	2	2 *		
	オペレーティングシステム	2	2 *		
	デ ー タ ベ ー ス	2	2		
	コンピュータネットワーク	2	2		
	情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2	2 *		
	通 信 工 学	2		2 *	
	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2		2 *	
	信 号 処 理	2		2 *	
	コンピュータグラフィックス	2	2 *		
	デ ジ タ ル 電 子 回 路	2	2 *		
	制 御 工 学	2	2		
	応 用 数 学	2	2		
	技 術 英 語	2		2 *	
	情 報 工 学 演 習	1		1	
	創 造 演 習 Ⅱ	1	1		
	創 造 演 習 Ⅲ	1		1	
	実 験 実 習	2	2		
	卒 業 研 究	8		8	
履修単位数計		49	27	22	
選択科目	応 用 物 理 学 Ⅱ	2	2		
	生 産 管 理	2	2		
	数 値 計 算	1		1	
	コ ン ピ ュ ー タ 解 析 法	1		1	
	パ タ ー ン 認 識	1		1	
	工 業 力 学	1		1	
	信 頼 性 工 学	1		1	
	セキュリティマネジメント	1		1	
	通 信 シ ス テ ム	1		1	
	C A D / C A M	1		1	
	デジタル・アナログ集積回路	1		1	
	無 線 シ ス テ ム	1		1	
	シ ス テ ム 制 御 工 学	1		1	
	ロ ボ ッ ト 工 学	1		1	
	情 報 工 学 特 論 Ⅰ	1		1	
	情 報 工 学 特 論 Ⅱ	1		1	
	情 報 工 学 特 論 Ⅲ	1		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	1	1	
開設単位数計		21	5	16	
履修単位数計		6	2	4	
履修単位数合計		55	29	26	

*は学則第14条第4項に定める授業科目による学修単位を示す。

	単位数	学 年 別 配 当		備 考
		4年	5年	
専門科目履修単位数	55	29	26	
一般科目履修単位数	14	8	6	
合 計	69	37	32	